

2. 東北（地域別調査機関：（財）東北開発研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（店 長）	来客数の動き	・ガソリン高の影響で、郊外の大型店に行く頻度が減少した分、当店への来客数が増加している。
		コンビニ（エリ ア担当）	来客数の動き	・タスポ導入後、来客数の増加が続いている。
		衣料品専門店 （店長）	お客様の様子	・ビジネス衣料は、買い控え傾向にあるが、普段着に関しては、たんす在庫にない提案には反応が良くなってきている。
	変わらない	一般小売店〔カ メラ〕（店長）	来客数の動き	・夏休みや夏祭り期間中の来客数は、前年並みとなったが、お盆明けからは悪天候の影響により来客数、売上共に前年を下回っている。
		百貨店（売場担 当）	お客様の様子	・秋物に移行する時期であるが、例年よりも先物を購入する客が少ない状況にある。客は、今現在必要な物だけを安く、単品買いする傾向にあり、買物に慎重な購買特性が更に強まっている。
		スーパー（店 長）	お客様の様子	・100円や99円などの低単価の均一商品は売れるが、一般的な定番商品の動きが悪くなっている。
		衣料品専門店 （経営者）	お客様の様子	・急に涼しくなってきたこともあり、常連客を中心に着物の売上が増加しているが、一般客からは必需品しか買えないという声が多く聞かれる。
		その他専門店 〔酒〕（経営 者）	販売量の動き	・中元品の販売量が前年を下回っている。また、ビールの値上げにより、消費者の買い控えが顕著になっている。
		高級レストラン （支配人）	来客数の動き	・来客数は増加傾向にあるが、燃料や原材料価格の高騰により、利益に還元されていない。
		一般レストラン （経営者）	来客数の動き	・ガソリンや食料品の値上げが続き、客の購買意欲が低下している。天候不順の影響もあるが、来客数は、芳しくない状況にある。
		その他飲食〔弁 当〕（スタッ フ）	販売量の動き	・郊外店に客が流れ、土日の集客ができないため、売上は前年比で90%を下回る状況が続いている。
		都市型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・前年と比べ、夏祭り期間中の団体客、ツアー客が減少している。予算に制約がある個人客の割合が増えたため、土産物の売行きが芳しくない状況にある。夏祭りの入込客数は、毎年減少傾向にあり、地元客の割合が増えている。
		都市型ホテル （スタッフ）	販売量の動き	・主力の海水浴客やビジネス客は減少傾向にあるが、全国中学校体育大会が開催され、選手の宿泊で市内ホテルは高稼働となっている。
		通信会社（営業 担当）	来客数の動き	・上旬から中旬にかけて来客数は多かったが、お盆明けから客足が止まり、売上が伸びていない。
		通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・県内の大半の取引企業は、景気下降気味であり、回復の兆しがみられない。
遊園地（経営 者）	来客数の動き	・中旬までの来客数はまずまずであったが、お盆の時期から悪天候が続き、イベントが無駄になるなど、計画を大幅に下回っている。しかし、猛暑で最悪であった前年よりはわずかに上回っている。		
住宅販売会社 （従業員）	それ以外	・現在の現場は、前年度に受注した物件であり、ようやく今年度受注の物件が動き出している。受注残はあるが、現場能力に限界があり、年度内に入居を希望する客にこたえられないケースもある。		
やや悪く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・悪天候や、駅前地区の大型商業施設の新規開店が影響して、来客数が減少している。	
	商店街（代表 者）	お客様の様子	・夏祭りの県外からの観光客数が前年比で約2割低下したため、商店街の売上、来客数が共に低調である。	
	一般小売店〔ス ポーツ用品〕 （経営者）	それ以外	・オリンピック効果が期待外れであり、また、先行きへの不安から、衝動買いをする客が減少している。	
	一般小売店〔医 薬品〕（経営 者）	販売量の動き	・現在必要な物しか買わない、大きい物より小さい物を買う傾向が強まっており、買上点数、単価共に減少している。	

百貨店（売場主任）	来客数の動き	・オリンピック観戦や、大雨などの天候不順の影響により、中旬以降、来客数が減少している。客はセール品といえども、1点1点見定めてシビアな買い方をしている。
百貨店（企画担当）	お客様の様子	・目的の商品を購入すると他の売場を回らずに帰る客が増えており、明らかに衝動買い、ついで買いが減少している。競争が激化する秋に向け、懸念材料が増えている。
百貨店（営業担当）	それ以外	・宝飾品や絵画、ギフト、土産物など、百貨店が得意とする分野が軒並み苦戦しており、良くなる気配が無い。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・消費者の価格に対する意識が一段と厳しくなっており、前年に比べ売上が減少している。特に、郊外型のスーパーと競合する食料品が落ち込んでいる。
百貨店（販促担当）	お客様の様子	・客は夏のセール期間でも吟味して買物する傾向にあり、客単価が低下している。
百貨店（経営者）	販売量の動き	・物価高に天候不順の影響も加わり、商品の動きが悪くなっている。食料品は比較的堅調であるが、その他の売上は前年を下回る状況で推移している。中元は前年並みを確保している。
百貨店（経営者）	来客数の動き	・主力であるミセス層の来店頻度や購買点数が低下している。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・中旬以降の天候不順や、生活防衛意識の高まりを背景に、客の買上点数が減少している。
スーパー（経営者）	販売量の動き	・ガソリンや食料品価格の高騰により、消費マインドは冷え込んでおり、客は価格に敏感で、無駄な買物を一切しないという節約ムードが定着している。このようななか、お盆商戦は、曜日配列が悪いこともあり、盛り上がりには欠けている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・来客数は前年並みであるが、客の買い控え傾向が強まっており、買上点数は5%低下している。特に、嗜好性が高い果物や酒に影響が出ている。
スーパー（店長）	単価の動き	・ガソリンや食料品価格、光熱費の高騰により家計が圧迫され、客の買上点数や来店頻度が低下し、客単価が下がっている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・買上点数は前年並みとなったものの、不安定な天候が災いして、来客数、売上が共に前年を下回っている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候不順により売上が低迷している。また、タスポ効果は終息に向かっている。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・原油価格高騰に伴い、交通量が減少しており、これにより来客数の減少が顕著に現れている。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・オリンピック景気は、期待したほど売上はなく、特にAV関係は例年と変わらない動きとなっている。また、お盆以降は天候が悪く、夏物商材も予想より売上の伸びが無い。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰を背景に、燃費が良いコンパクトカーへの買換えが進んでいたが、ここにきて鈍化し始めている。また、複数所有客の減車も目立っている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・ガソリン高の影響で、利益率が低いコンパクトカーの販売が中心となっている。
乗用車販売店（経営者）	それ以外	・ガソリン価格や物価の高騰に伴い、客は車の購入を延期している。
乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・依然として低価格車が販売の中心となっている。また、車の長期保有が増え、車検台数の増加が見込めるにもかかわらず、在庫量が前年比で90%となっている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・これまでより車を買換えするサイクルが長くなっている。
その他専門店 [酒]（営業担当）	販売量の動き	・お盆期間中に多少立て直したものの、売上は前年を大幅に下回っており、特に飲食店向けの落ち込みが大きい。営業や在庫調整を行ってしのいでいるが、厳しい状況が続いている。
その他専門店 [ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・9月からガソリンの卸価格が下がるが、8月に値下げを前倒しする動きも出ていることから、撤退を余儀なくされるスタンドも出てきている。

	その他専門店 [ガソリンスタンド] (営業担当)	販売量の動き	・物価の上昇に伴い、客の買い控えが浸透してきたため、厳しい状況が続いている。
	一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・郊外店であるため、ガソリン価格高騰の影響が大きく、前年に比べて来客数が減少している。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・原油や原材料価格の高騰が影響して、企業では会合を控える動きが出ている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・売上が、前年を下回る状況が続いている。原油価格の高騰に伴い、節約ムードが高まり、自転車を利用して帰宅する人が目立っている。
	通信会社 (営業担当)	お客様の様子	・客との商談では、景気が良いという話は全くない。設備投資よりはコスト削減を重視する企業が多い。
	テーマパーク (職員)	単価の動き	・客単価が5%低下している。
	美容室 (経営者)	単価の動き	・カット、パーマ、カラーリングなどを複数組み合わせる動きが無くなり、単価が大幅に低下している。また、悪天候の影響も考えられるが、来客数が減少している。
	美容室 (経営者)	単価の動き	・カットやパーマ、カラーリングなど様々なメニューがあるが、複数のメニューを組み合わせる客が少なくなっている。
悪くなっている	商店街 (代表者)	単価の動き	・価格上昇により、1品当たりの購入単価の低下が目立っている。さらに販売数量、来客数も低下しており、売上全体では、前年比10~18%の減少となっている。
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・猛暑、豪雨などの悪天候が続いたうえに、オリンピックや全国高校野球大会のテレビ観戦が重なったため、出控えの傾向が強まり、売上に悪影響を及ぼしている。
	一般小売店 [医薬品] (経営者)	来客数の動き	・天候不順の影響もあるが、夏祭り、オリンピック、お盆が終わっても来客数が戻らない。問屋からも、景気は最悪の状態になっていると聞いている。
	一般小売店 [医薬品] (経営者)	来客数の動き	・来客数は過去に例がないほど落ち込み、客単価も低下していることから、過去20年で最悪の状況となっている。
	一般小売店 [雑貨] (企画担当)	来客数の動き	・夏の到来が早まったことや、オリンピック観戦による出控えの影響により、8月の来客数が前年と比べ減少している。
	スーパー (経営者)	販売量の動き	・客が自由に使えるお金が減少しているため、買物がシビアになり、客単価が低下している。
	スーパー (経営者)	お客様の様子	・物価高騰に伴い、客の買い控え傾向が強まるなか、お盆期間中の天候不良や気温の低下が重なり、前年同月比で売上が減少している。
	スーパー (店長)	来客数の動き	・競合店の開店や、客の買い控えによる来店頻度の減少により、来客数が3か月前と比べて10%減少している。
	スーパー (店長)	販売量の動き	・中国製の商品の動きが悪い。低価格商品であっても、安心と信頼が得られなければ動きは鈍い。
	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・ガソリン価格の高騰により、来客数が減少している。
	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・来客数が前年比92%、客単価が93%と大幅に減少しており、市内の同業との比較でも悪い状況にある。
	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・夏物の処分セールで値下げをしても、例年と違い、客の反応が鈍く、売上に繋がらない。
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・今年の夏は気温が上がらず、夏物の動きが悪い状況にある。また、若い層の帰省客が減少し、例年お盆期間中に見込んでいた家族連れのみ来店が大幅に減少している。
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・例年より早く涼しくなっているため、夏物商材の動きが悪く、来客数も減少している。
	自動車備品販売店 (経営者)	競争相手の様子	・同業他社と受注量について情報交換しているが、当社と同様に大幅な減少となっている。
	住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・売上が前年よりも大幅に減少している。オリンピック観戦による客の出控えの影響もあるが、閉幕後も同じ傾向が続いている。
住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・客は財布のひもが固く、小規模店を敬遠する傾向にあるため、厳しさが一層増している。	

		その他専門店 〔食品〕（経営者）	販売量の動き	・帰省客や行楽客が例年より大幅に減少している。また、中元品の客単価が低下し、販売量も減少している。
		その他専門店 〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	販売量の動き	・ガソリンや原材料価格の高騰により、企業の購買意欲は低下し、必要最低限の物を、安くたたいて購入するため、販売量、利益幅共に厳しい状況が続いている。
		一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・ゼネコン関係は受注が少なく、現場が減少しているため、営業所に人があふれている状況にある。
		観光型ホテル （経営者）	来客数の動き	・夏休みや夏祭り、お盆などのイベントがあったが、入込は振るわず、バブル期以降最悪の状況である。岩手・宮城地震の余震やガソリン価格の高騰などの外的要因もあるが、最大の要因は、社会全体の不景気である。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・岩手・宮城地震の風評被害や、ガソリン価格の高騰に伴い、旅行マインドが著しく低下し、8月は前年比で30%の減収、9月の予約も大幅に減少している。
		都市型ホテル （経営者）	販売量の動き	・宿泊部門の売上は、お盆や夏休み期間中の動きが極端に悪く、前年比20%以上の減少、宴会部門は、納涼会等を取りやめする動きがあり5%の減少、レストラン部門は、前年並みとなっている。全体では前年を大きく下回っており、景気は悪化している。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・夏休みの家族旅行が多くなる時期であるが、海外旅行は燃油サーチャージの影響で、前年に比べ申し込みが大幅に減少している。その反動で国内旅行の増加を期待したが、やはり減少している。
		タクシー運転手 通信会社（営業担当）	販売量の動き お客様の様子	・雨天時でも乗客数が増加しない状況にある。 ・衝動買いがみられなくなり、買い控えが先月以上に進んでいる。
		その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	単価の動き	・原材料の高騰に伴うコスト上昇分を販売価格に転嫁できない。また、単価が安い物に注文が集中している。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている			
	変わらない	食料品製造業 （総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年を上回っているが、原材料高による製造コストの上昇により、収益面では非常に苦しい状況にある。
		木材木製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・住宅部材の受注単価が改善されず、採算が取れない状況が続いている。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が目標値を下回る状況が続いており、景気が回復する雰囲気は感じられない。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・株価、市況の低迷から、個人顧客による投資信託の買い控えが目立っている。
		公認会計士	取引先の様子	・売上が落ちたままの状況が続いており、回復の兆しはみえない。
		その他非製造業 〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・当社から仕入れた商品が売れないため、取引先から値引きを要請され大変困っている。
やや悪く なっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・肥料、農薬、資機材価格が軒並み上昇している。農協からは、肥料を50～60%値上げする旨の通知を受けている。	
	農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・直売所の農産物の売行きが悪く、価格が低い物しか売れない。	
	食料品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・夏祭りの平日開催や最近の地震による風評被害の影響で、祭り期間中の来客数が例年より大幅に減少している。また、ガソリン価格の高騰により、帰省客が減少し、郊外や高速道路近辺の店舗の売上が大幅に減少している。	
	建設業（企画担当）	競争相手の様子	・原材料価格が高騰するなか、入札予定価格は上がらないため、官民間わず不調入札が増加している。	
	輸送業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・物価高に伴うコスト上昇分を料金に転嫁できないため、収益が悪化している。	
	輸送業（従業員）	取引先の様子	・全体的に荷動きが鈍化傾向にあり、コンテナに空きが目立っている。	

	通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先からは、物価の上昇により、景気が悪いという話を頻繁に受けている。
	金融業（広報担当）	取引先の様子	・地方公共団体や一般企業が、広告宣伝費を縮小するなか、用紙やインク代等の原材料費が値上がりしていることから、印刷やデザイン業者の売上減少、利益率の低下が続いている。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・購読をやめる読者の多くは、家計のやりくりが厳しいことを理由として挙げている。ガソリンや食料品価格が高騰するなか、調整が容易な新聞や保険からやめるのが一般消費者の心理である。また、チラシ収入が不安定であり、他販売店からも少なくなったという声が聞かれる。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・厳しい経営環境のなか、限界に達しつつある企業が増えてきている。
	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月前半の受注はまずまずであったが、後半は厳しい状況になっている。小売店や飲食店からは、お盆明けから客足が遠のいたという声を多く聞いている。
	その他企業〔管理業〕（従業員）	取引先の様子	・工場に出入りする工事業者や製品メーカーの数が6、7月に比べ、半数以下になっている。
悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が、前年同月比で10%減少しており、この傾向は、前年11月以降連続して続いている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・自動車部品の売上は、計画未達の状況が続いている。原材料価格が高騰するなか、付加価値の高い製品の売上が減少し、収益が大幅に圧迫されている。
	通信業（営業担当）	それ以外	・運送業、建設業、不動産業の倒産による解約が目立っている。
	広告業協会（役員）	取引先の様子	・4～7月の売上は、新聞が前年比80%、テレビが98%、ラジオは86%となっており、新聞折込、交通広告、セールスプロモーション関係が前年を多少上回っている状況である。テレビが比較的良いのは、大型商業施設の開店の影響によるものである。
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・原油価格の高騰や、価格競争の激化により、受注量は激減している。
	コピーサービス業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月から受注量が減少傾向にあったが、8月は前年を大幅に下回る実績となっている。
	その他企業〔企画業〕（経営者）	取引先の様子	・取引関係がある住宅会社の受注量が減少したため、同社からのPR関係の受注が減少している。
雇用関連	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	人材派遣会社（社員）	それ以外	・各企業担当者は、派遣労働者の自然減を考えている。相次ぐ同業他社の不祥事や、製造派遣の契約期限切れ問題もあり、依然として厳しい状況が続いている。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新規開店の大型商業施設の求人が一段落する一方で、地元企業は支出を引き締める傾向にあり、全体的には沈着状態にある。
やや悪くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣社員の求人が極めて低調である。また、現在の契約もスタッフ交代を機に更新されないケースが多くなっている。
	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・求人数を減らして、欠員補充をせず、社内で人員調整する動きが見受けられる。育児休業後の復職率も高まっている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・公共事業の縮小や、原油・物価高騰の影響が大きい建設業を中心に解雇者が増加しており、前年同時期と比べ2倍以上となっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ほとんどの業種で、新規、有効求人数共に前年を下回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・企業の採用活動が停滞しており、月間有効求人数が11か月連続で前年同月を下回っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、パートが微増となったものの、常用、臨時共に減少し、全数では9か月連続の減少となっている。一方、新規求職者は、在職者、事業主都合による離職者が共に増加している。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・すべての業種において、新規求人数の低下が続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前年同月と比較して減少傾向が継続しており、ここ数か月は、特に減少している。
悪く なっている	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・直接雇用の流れが加速しており、派遣業界の景気は悪化している。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・撤退や人員削減により、企業規模が縮小している。